

2015年5月25日

横浜ゴム、4×4/SUV用ハイウェイテレーンタイヤ 「GEOLANDAR H/T G056」新発売

横浜ゴム（株）はSUV用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」のハイウェイテレーンタイヤの新商品「GEOLANDAR H/T G056（ジオランダー・エイチティ・ジーゼロゴロク）」を2015年7月から発売する。同商品は世界的に販売が増加しており、日本でも安定的な人気を得ている中・大型の4×4/SUVをターゲットとしている。発売サイズは285/50R20 112V～215/80R15 102Sの14サイズ。価格はオープンプライス。

「GEOLANDAR H/T G056」は、中・大型4×4/SUVユーザが求める耐摩耗性・耐久性、静粛性・快適性、ハンドリング性能などを追求し、都市やハイウェイでの快適な走りを発揮する真のハイウェイテレーンタイヤを目指して開発した。トレッドパターンには中・大型4×4/SUVの特性に合わせてチューニングした専用パターンを開発。コンパウンドには特性の異なる2つのポリマーに、ウェット性能を高めるシリカと独自開発のオレンジオイルを配合した「マルチコンビネーションコンパウンド」を採用した。さらにレーンチェンジやコーナリング時にもしっかりと安定感とダイレクトなハンドリング性能を発揮するよう構造とプロファイルを見直した。これにより、従来品（GEOLANDAR H/T-S）に比べ、耐摩耗性を21%向上、パターンノイズを13%低減（騒音エネルギー低減率での比較）するとともに、レーンチェンジ時の操縦安定性においてハンドル舵角で4%、ヨーレートで13%改善している。※詳細なテスト内容は性能データをご覧ください。性能データについてはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

オンロードを主体とする商品では、すでに都市型クロスオーバー／中・小型SUV向けの「GEOLANDAR SUV」を販売しており、今回の「GEOLANDAR H/T G056」の発売により日本国内で販売されているSUV用のタイヤサイズを広くカバーし多様なユーザーニーズに対応する。

「GEOLANDAR」シリーズは上記2商品に加えて、オールラウンド用「GEOLANDAR A/T-S」、オフロード用「GEOLANDAR M/T+」、スタッドレスタイヤ「GEOLANDAR I/T-S」をラインアップしており、グローバル商品として世界各地で販売している。



このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：坂本
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

発売サイズ

インチ	扁平率	タイヤサイズ	発売予定年月
20	50	285/50R20 112V	2015年8月
	60	245/60R20 107H	2015年9月
18	60	285/60R18 116H	2015年9月
		275/60R18 113H	
		265/60R18 110H	2015年7月
17	65	265/65R17 112H	2015年7月
	70	265/70R17 115S	2015年7月
16	65	255/65R16 109H	2015年7月
	70	275/70R16 114H	2015年9月
		265/70R16 112H	2015年7月
		★245/70R16 111H	
15	70	265/70R15 112H	2015年8月
		215/70R15 98H	
	80	215/80R15 102S	2015年8月

★印はエクストラロード規格

耐摩耗性、ハンドリング性、静粛性などを高める新トレッドパターン

大型 SUV は高重心・高車重のためレーンチェンジ時のふらつきやタイヤの偏摩耗などが発生しがちになる。新パターンはこの SUV ならではの特性に合わせてチューニングを施し、多くの技術を採用。耐摩耗性、ハンドリング性、静粛性、快適性を高いレベルでバランスしている。



- 1** ジグザグ・メイン4グループ
ジグザグにすることでエッジ成分を増やした主溝。トラクションを向上させると共に、耐ハイドロブレーキング性能も発揮。また深溝化により、ロングライフ性も高めた。
WET SNOW 耐摩耗


- 2** マルチプル・ラググループ
ウェット路面で高いトラクションを生み出すため、ラグ溝を最適化して十分な溝成分を確保。優れた排水性を発揮する。
WET SNOW


- 3** アダプティブ・ショルダーブロック
太いラグ溝を内側に貫通させず、細いリブを配置。ショルダー剛性を高めてハンドリング性を向上し、偏摩耗を抑制。またパターンノイズの低減にも貢献する。
静粛性 操縦安定性 耐摩耗


- 4** 3D サイブ
ブロック内に三層構造の立体サイブを採用。サイブの壁が互いに支え合い、倒れ込みを抑制。ブロック剛性を高めつつエッジ成分を向上し、強力なトラクションを生み出す。
WET SNOW 操縦安定性



5ピッチバリエーション 静粛性
ブロック長の異なる5種類のエレメントを配置してパターンを設計。音の周波数のピークを分散させることで、耳障りなパターンノイズを低減する。
イメージ

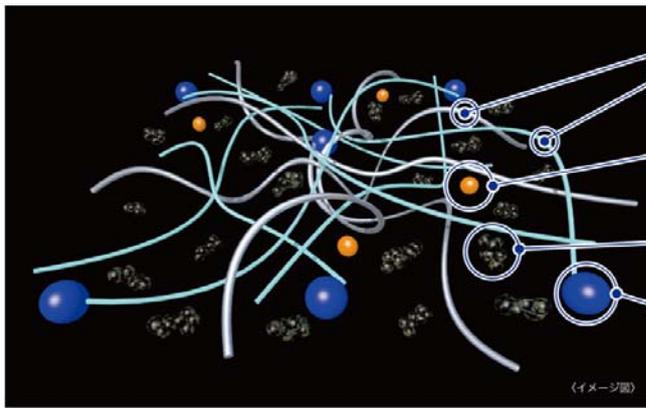


大型 SUV 向けラインアップ
ジオランダーH/T G056は、速度記号S、H、Vレンジを中心としたラインアップ。最近の大型SUVの高速走行においても、余裕の走りをもたらす。

車外通過騒音を低減
生活周辺環境への配慮として、パターンの溝配置を最適化することにより「車外通過騒音」を低減させている。

強く、しなやかな「マルチコンビネーションコンパウンド」を新開発

「マルチコンビネーションコンパウンド」は特性の異なる2つのポリマーをブレンドすることでコンパウンド特性をSUV向けに最適化。さらに、ウェット性能を向上させるシリカ、オレンジオイルを配合し、大型SUVタイヤに求められる性能を高レベルで実現した。



ブレンドポリマー

SUVに求められる耐摩耗性、耐久性、そしてグリップ性能を確保しつつ、ころがり抵抗を低減させるようにポリマーをブレンド。

オレンジオイル

独自技術「オレンジオイル」配合。
ウェットグリップ性能を向上。



カーボン

ポリマーを補強することにより、耐摩耗性を向上し、力強い走りを生み出す。

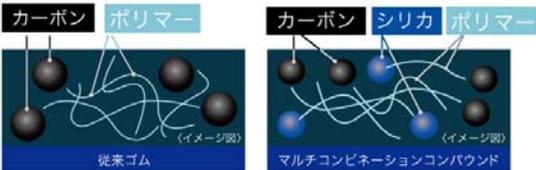
シリカ

ウェットグリップを高めると共に耐摩耗性の向上にも貢献。

耐摩耗性向上

摩耗に強いポリマーの採用に加え、カーボンとシリカによる補強性を強化することで耐摩耗性を向上。

■小径化した粒子によってポリマーとの結合を強化



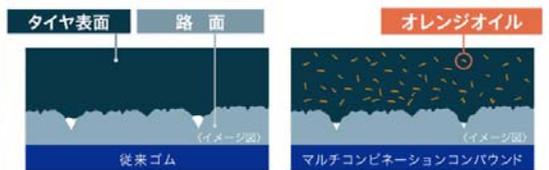
ポリマーと粒子の結合が少ない。

粒子が多くのポリマーと結合する。

ウェット性能向上

シリカに加えてオレンジオイルを配合することにより、しなやかなコンパウンドを完成。

■路面の微細な凹凸のすき間に密着



しなやかさが足りないため、路面の微細なすき間に密着しない。

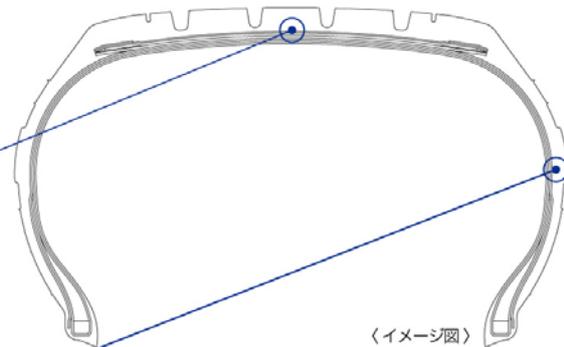
路面の微細なすき間に密着し、グリップに必要な接地面積を拡大。

高速走行時の快適性と安定感、トータル性能を高める専用構造 & プロファイル

専用構造によりレーンチェンジ時やコーナリングでのしっかりとした安定感を確保し、大型 SUV のためのしなやかな乗り心地を実現。また、路面への接地圧を均一化し、操縦安定性やウェット性能にも配慮した専用プロファイルを採用することで、重量級の SUV でも不安を感じさせないダイレクトなハンドリングを発揮する。

ナイロンフルベルトカバー構造

高速域でのトレッドの変形を抑制し、操縦安定性を向上。
また、ロードノイズの低減にも貢献する。



ジオランダーH/T G056専用サイド構造

大型SUVのための快適性を確保するためにサイド剛性を最適化。
ハイウェイテレーンならではの安定感をもたらす。

ジオランダー H/T G056
専用プロファイルが生み出す
最適な接地形状



ジオランダー H/T G056



当社従来品 (G051)

性能比較データ

■耐摩耗性能



■ウェット制動



■ウェット円旋回(ラップタイム)



■パターンノイズ(騒音エネルギー低減率)



■ロードノイズ(騒音エネルギー低減率)



■摩耗時のパターンノイズ(12160km走行 タイヤ:騒音エネルギー低減率)



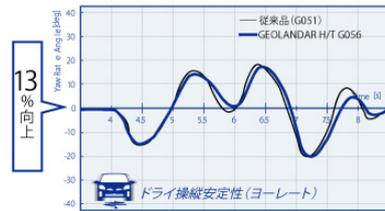
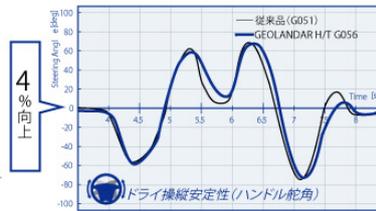
■ころがり抵抗性能



■車外通過騒音



■レーンチェンジ時のふらつき



●耐摩耗性能(試験方法)一般道で設定したコースで12160kmを走行した際の摩耗量から算出した推定寿命に比較、ドライ比率79.3%、ウェット比率20.7%(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)、ローテーションなし、車両、ドライバーが走行距離の半分となるようにタイヤ交換を実施。(試験結果)推定寿命G051「58069km」、G056「70169km」●ウェット制動(試験方法)当社テストコースにてGPS付測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測を行い平均値を算出。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)、ABS作動、速度:100km/h、水深:1mm(試験結果)G051「50.0m」、G056「48.7m」●WET円旋回(試験方法)当社テストコース内スキッドパット(半径30m)にて、半径30mで走行可能な最高速度で、定常円旋回を行った場合のラップタイムを計測し3回の平均値を算出。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)(試験結果)G051「18.10秒」、G056「17.96秒」●パターンノイズ(試験方法)当社テストコースにて走行した際の50km/h速度での車内音を計測。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)●G051「運転席の助手席側耳位置57.3dB」、G056「運転席の助手席側耳位置56.7dB」●ロードノイズ(試験方法)当社テストコースにて50km/hの速度にてロードノイズ路を走行した際の車内音を計測。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)(試験結果)G051「運転席の助手席側耳位置58.94dB」、G056「運転席の助手席側耳位置58.6dB」●摩耗時のパターンノイズ(試験方法)12160km走行後のタイヤで、当社テストコースにて走行した際の50km/h速度での車内音を計測。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)(試験結果)G051「運転席の助手席側耳位置55.8dB」、G056「運転席の助手席側耳位置55.2dB」●ころがり抵抗性能(試験方法)当社室内ドラム抵抗試験機によるころがり抵抗係数(RRC)をISO 28580条件で測定。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×8J、空気圧:210kPa、負荷荷重:8.79kN、速度80km/h(試験結果)G051「100」、G056「96」●車外通過騒音(試験方法)当社テストコースにてISO路を走行した際の車外騒音を計測。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:190kPa、荷重:4輪平均8.47kN、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)(試験結果)G051「75.0dB」、G056「74.2dB」●ドライ操縦安定性(操舵角、ヨーレート)(試験方法)当社テストコースにてISO3888-IIに定められているコースをハイロンで作成して操舵角、ヨーをセンサーにて計測。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。(試験条件)タイヤサイズ:265/65R17 112H G051、G056、リムサイズ:17×7.5J、空気圧:220kPa、荷重:2名乗車相当、車両:ランドクルーザープラド(CBA-TRJ150W,2.69L,4輪駆動)、速度:100km/h(試験結果)操舵角ピーク値G051「75.3」、G056「72.2」、ヨーレートピーク値G051「23.2」、G056「20.5」

*タイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法で試験を行っています。詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出ています。試験結果はあくまでもテスト値であり、運転の仕方によっては異なります。

○前任年度での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー = $\left(\frac{1}{10^{\frac{dB}{10}}} - 1\right) \times 100$